

☆LunaticCPU 戦のススメ

この記事を書いている 2021 年現在は 2008 年～2012 年頃の全盛期と比べると対戦募集もかなり少なくなり、特にプレイヤー同士の横のつながりが少ない新規のプレイヤーは経験を積める機会が少ないように思う。外部ツールを使用して疑似的な対戦環境を作ることができないこともないのだが、かなり敷居が高い。ということで、筆者が大会前の調整やトレーニングに使用している方法を紹介する。……と言っても単に難易度 Lunatic で CPU 戦を行うだけなのだが。

一部の人は知っている通り、難易度 Lunatic の CPU は所謂”自殺タイマー”が設定されており、CPU に対して有効な打点を持っているキャラクターで専用の立ち回りをしないと勝利することが難しい。そのためこの練習では、「勝利することは一切考えず」に「耐久時間を延ばす」ことを目的とする。

「耐久時間を延ばす」と言っても、例えば「一切ショットを撃たない」とか「チルノで延々開花する」というように、現実の対戦では絶対にやらないまたはやっても意味がないことを行って無理やり耐久時間を延ばすのではなく、現実の対戦のように「スperlポイントを管理して的確にボスを押し付ける」ことを意識すること。

ちなみに対戦する CPU の使用キャラのオススメは以下の 2 体である。

- ・魂魄 妖夢
- ・ミスティア・ローレライ

妖夢はボスアタックを除く攻撃が極端に弱くはないが特別に強力でもないことから、「的確にボスを押し付け」「白弾の誘導ができてい」ならかなりの長時間耐久することができるだろう。逆に言えばそれができなければすぐに被弾してしまうので「花映塚の基本」を確認するのはもってこいだ。一方のミスティアはボスアタックを含めて攻撃がかなり弱いので、妖夢で練習するのは少々難しいと感じるプレイヤーや強キャラと戦うことを想定しないキャラクターの練習をする際に使用することになる。こちらは「白弾の誘導ができており」「適切に C2 を使用できている」なら長時間耐久することができるだろう。

いずれにしても 1 度良いタイムを出すことに意味はなく、平均的なタイムを延ばすことが重要になる。まずは 3 分耐えることを安定させる。次は 2 分まで無被弾を維持する。といったように自身の実力に合わせて目標を少しずつ高く設定すると上達しやすいと思われる。

「CPU 戦と対人戦は違う」と思い LunaticCPU 戦を一切行わない人も結構居るのだが、「なにもしない」よりは「できることをやる」方が上達は早いと思うので、長時間は無理だが 30 分だけなら時間が取れるときなどにプレイしてみたいかだろうか。